

事務事業評価表

○基礎情報

課名		道路管理課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	49	身近な生活道路を安全で快適にする	岩澤 斉朗	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				2 人	22 人	1 人	2 人	1 人	5,317 時間	20.1 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画 の現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
狭あい道路の整備延長率	37.33%	40.59%	19.09%	37.33%	37.99%	38.69%

(評価の見方)

- ・ **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ **C** 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ **Z** 未着手事業
- ・ **実績** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
なし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の 性質	実績			従事 者数	会計 区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28 業棚 選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ (手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務 計画	広域 連携	行革 重点								
1	幹線道路維持保全 事業	計画的な維持管理による安全安心 な道路環境を図るため、幹線道路の 舗装修繕工事を行う。	政策的事業				0.30	一般	1,588,000 ----- 806,605	整備延長 ①舗装②歩行空間 ③自転車走行空間	地盤調査	地盤調査 調査延長28km	S	
2	橋りょう等長寿命化 修繕事業	既存橋りょうの耐震補強の整備促進 を図り地震時の安全性を確保する。	政策的事業	●			0.47	一般	38,019,000 ----- 21,706,824	①点検 ②補修設計 ③補修工事	(長寿命)①21施設 ②0橋 ③0橋	①16橋(5橋は29年度へ繰越) ②2橋 ③0橋	C	
3	狭あい道路整備事 業	狭あい道路を整備促進することによ り、防災性・住環境の向上を図り、安 全な生活道路として整備する。	政策的事業	●			3.32	一般	312,027,000 ----- 288,840,567	狭あい道路の整備延長率	38.96%	38.69%	S	●
4	市道2574号線(茅ヶ 崎ツインウェイ)道 路修繕事業	老朽化した道路施設の修繕を実施 し、道路の安全安心を確保する。	政策的事業				0.10	一般	0 ----- 0	道路修繕面積	1,300㎡	ロードヒーティングの調査 及び事業費算定	C	
5	市道4201号線(大山 街道)道路整備事業	幅員の狭い箇所のある「大山街道」 を地域との調整を行い、歴史や安全 に配慮した整備を行う。	政策的事業				0.31	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	現況測量	現況測量 延長0.94km	S	
5-2								繰越	4,655,000 ----- 4,569,480					
6	市道7560号線道路 整備事業	現道に歩道を拡幅設置し、児童・生 徒及び歩行者等の安全・安心を確保 する。	政策的事業				0.00	一般	5,886,000 ----- 5,345,382	事業の進捗状況	【工事】 歩道暫定整備410㎡	歩道暫定整備417㎡	S	

7	市道等舗装事業	市・私道未舗装道路を舗装し、歩行者の通行の安全と住環境の改善を図る。	政策的事業			0.33	一般	4,061,000 ----- 2,094,342	舗装面積	1,100㎡	285㎡	A	
8	資材置場移転事業	資源物選別処理施設跡地の未利用公有地の有効活用のため土木資材置場の移転を行う。	政策的事業			0.85	一般	30,000,000 ----- 18,553,440	事業の進行管理	移転工事完了	平成28年9月工事着工、繰越事業となり、平成29年6月末工事完了	C	
9	土木施設災害復旧事業	災害を受けた道路及び橋りょうの復旧工事を行う。	政策的事業			0.19	一般	3,000,000 ----- 1,037,664	災害対応件数	1件	1件	S	
10	道路排水設備更新事業	老朽化した道路排水ポンプ場設備の機器の更新を実施し、設備の長寿命化を図る	政策的事業			0.25	一般	1,934,000 ----- 343,440	実施施設数	2施設	2施設	S	
11	駅周辺道路施設等更新事業	駅周辺及び道路施設等の更新を実施し、利用者の安全運行を確保する。	政策的事業	●		0.50	一般	31,580,000 ----- 30,816,894	①エレベーター ②エスカレーターの修繕状況	①5基/10基 ②3基/6基	①5基/10基 ②3基/6基	S	
12	茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業	茅ヶ崎駅南口広場を改修し、快適な歩行空間を整備する。	政策的事業			0.44	一般	0 ----- 0	事業の進捗状況	関係機関協議の完了	関係機関協議途中	C	
13	駅周辺及び道路施設等の維持管理	駅周辺及び道路施設等の維持管理により、利用者の安全運行を確保する。	定例・定型的事業			1.29	一般	71,791,000 ----- 70,153,655	茅ヶ崎駅前広場等清掃業務及びエレベーター、エスカレーターの保守点検	駅前広場等清掃(毎日) エレベーター10基、エスカレーター6基の保守点検	駅前広場等清掃(毎日) エレベーター10基、エスカレーター6基の保守点検	S	
14	受託土木工事の設計、施工及び監督	受託土木工事の設計、施工及び監督を行う。	定例・定型的事業			0.28	一般	0 ----- 0	受託工事及び業務委託の設計、施工及び監督の件数	4件	—	実績なし	
15	側溝浚渫事業	市内各所の側溝の浚渫を行い、道路の路面排水機能を保全・確保する。	定例・定型的事業			1.92	一般	12,583,000 ----- 12,576,600	側溝の浚渫延長	3,500m	延長2,738m 雨水枡清掃173箇所	A	
16	道路の管理	市道の安全保持のため、維持修繕を行う	定例・定型的事業			8.24	一般	19,776,000 ----- 17,479,015	舗装路面補修箇所数	1,400箇所	1,140箇所 (月平均95箇所)	S	
17	道路の占有、掘削等の許可に関すること	道路の占有、掘削等の提出により、調査し許可を適切に行う。	定例・定型的事業			2.56	一般	0 ----- 0	申請・許可件数	2,000件	2,113件	S	●
18	道路の占用料等の徴収に関すること	道路の占用料等の徴収を適切に行う。	定例・定型的事業			0.72	一般	0 ----- 0	道路付属物占用料 道路損傷復旧負担金	1,900件 200件	1,942件 344件	S	
19	道路安全施設設置事業	歩行者や車両の安全を確保するため、道路照明灯・道路反射鏡・路面標示などの整備を図る。	定例・定型的事業			0.88	一般	85,870,000 ----- 70,581,310	照明灯新設・反射鏡新設 / 照明灯電気料 / 照明灯点検	15灯・85面 / 1,032基/100本	10灯・58面 / 1,027基/100本	A	
20	道路小規模修繕事業	市道の雨水枡設置、舗装修繕、ガードレール等小規模な損傷復旧を行う。	定例・定型的事業			0.45	一般	24,546,000 ----- 24,545,518	修繕箇所数	45箇所	51箇所	S	
21	道路整備事業	市道の路面・歩道等の整備を行い、交通の安全性の確保を図る。	定例・定型的事業			0.59	一般	42,804,000 ----- 41,090,064	道路整備面積	2,570㎡	1,136㎡ 土留延長173m	A	
21-2							繰越	10,353,606 ----- 10,302,360					

22	道路舗装修繕事業	舗装の穴あき等の損傷箇所を早急に復旧し、歩道の段差や起伏を解消し歩行者や自転車等の安全を確保する。	定例・定型的事業	●			0.32	一般	123,112,000 ----- 120,718,247	整備面積	11,400㎡	7,602㎡ 段差解消12箇所	A	
23	道路舗装損傷復旧事業	事故の原因となる舗装の穴あき等損傷箇所を早急に復旧する。	定例・定型的事業				0.29	一般	24,083,000 ----- 23,930,640	復旧面積	1,042㎡	1,572㎡	S	
24	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.77	一般	0 ----- 0	-	-	-		
25	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				0.88	一般	0 ----- 0	-	-	-		
合計							26.25	予算 決算 繰越	847,668,606 ----- 750,620,207 ----- 14,871,840					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>道路管理課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除くと23事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは「S」の13事業であり、以下「A」5事業、「C」4事業、「実績なし」1事業となっており、大半の事業で成果を出すことができた。もしくは今後成果が見込めるものとなっている。</p> <p>C評価とした3事業「橋りょう長寿命化修繕事業」は国庫補助金の交付決定を受け、実施するため繰越となったため。「資材置場移転事業」については、工事に不測の日数を要し繰越となったもので事業目標が達成できなかったものであるが、29年度完了の見込みで成果は見込めるものである。また、「茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業」については、関係機関協議に時間を要しているが、成果は今後見込めるものである。</p> <p>定期的な幹線道路等のパトロールを実施し、早期に損傷箇所を発見し早急な対応を行い、道路の安全性・快適性の確保に努めた結果、大きな事故の未然防止が図れた。</p> <p>一方、職員の時間外勤務については、総時間で5,317時間で、一人当たりに換算すると月平均約21時間であるが、行2職を除く行1職については月平均29時間となる。管理職が増えたこと、道路舗装構成台帳を作成し職員の窓口対応の負担軽減を図ったことなどが主な要因である。26年度から毎年時間外勤務については、減少してきているが、29年度行動改革コンサルティングにより業務プロセス改善を行い、さらなる時間外勤務の縮減に取り組んでいく。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
3	狭あい道路整備事業	狭あい道路整備事業全体を管理できる「狭あい道路整備事業管理表」を整備し迅速な事務処理ができる仕組みを作り効率的に業務を行った。提案型民間活用制度についての検証を行い、次年度に改善を行うようにした。
17	道路の占有、掘削等の許可に関する こと	許認可審査に係る人員体制、事務手順の見直しを行ったことにより、職員の事務負担の軽減を図れ、許可書発行までの日数を短縮することが出来た。

5 新たな行政改革重点推進事業（本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます）

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-